

平成29年度 学生市民等協働プログラム 概要

部局名 人文社会科学部

区 分	内 容
事業名	台湾の観光客増加を目的とした弘前市観光ガイドブック流通事業
指導教員	①人文社会科学部 森樹男 ②教育学部 佐藤光輝 ③人文社会科学部 高島克史
学生市民等の所属及び人員	人文社会科学部 6名 教育学部 1名 株式会社コンシス グローバル戦略事業部マネージャー 教育学研究科 修士 2名
渡航先 (渡航期間)	台湾 (平成29年8月27日～平成29年8月30日)
実施スケジュール	平成29年 5月12日～ 事前調査 " 8月27日～ 台湾渡航 " 8月28日 現地書店・開南大学など訪問調査 " 8月29日 現地書店など訪問調査 " 8月30日 帰国 " 9月 1日～ 調査結果まとめ・ガイドブック修正 " 12月1日～ ガイドブック発送・活動の取り纏め
プログラムの概要	1. 目的： 弘前市を中心とした観光ガイドブックを台湾において流通させ、台湾人観光客の増加につなげること。
	2. 事業概要： 台湾で販売可能な質の高い青森県観光ガイドマップの作成し、現地書店への交渉を行い、販路開拓を行う。
	3. 教育目標： ガイドブック流通のための調査を通じてマーケティング能力の養成 地域を理解し、地域活性化に貢献するような人材育成 チームで課題解決に取り組むことによる社会人基礎力の向上
	4. 期待される成果等： 弘前市を中心とした観光ガイドブックの販路の確保 台湾での現地調査を通じて外国人目線での魅力的素材の発見
	5. 当事業が弘前市や弘前市関連地域にあたえる効果・成果等： ガイドブックの流通を通じて台湾人観光客の増加が期待 情報提供のあり方次第で、誘客に結びつけることができるモデルの提示



【写真1：制作したガイドブック】



【写真2：現地書店にて説明】

プログラムの様子



【写真3：開南大学にて交渉】



【写真4：現地での営業活動】



【写真5：販売契約成立】



【写真6：店頭販売の様子】

今後の展望

今回、台湾で和食レストランを経営する方が観光ガイドブックの販売を約束してくれただけでなく、ガイドブックに載っている青森県の郷土料理をお店で提供し、青森県や弘前市のPRをしてくれることとなった。すなわち、観光ガイドブックを介して、台湾の方が台湾の和食レストランで青森県の郷土料理を食べ、青森県への関心を高め、青森県を実際に旅行するというストーリーができあがったのである。このようにガイドブックの制作が台湾からの誘客に繋がる可能性を見いだせたことから、次年度はこの誘客パターンの効果測定も検討していきたいと考えている。